

2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1年次/1年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月3 : /Mon.3

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10111308			
科目番号 /Course Number	10160287			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	認知心理学 : Cognitive Psychology			
担当教員名 / Instructor(s)	/(村上 嵩至) : MURAKAMI Takashi			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	<p>私たちは一般に、目を開けてさえいれば外の世界が『見えている』と感じるし、その世界の一部だけに『注目する』こともある。</p> <p>また、目を閉じた後でも、その光景を心の中で『思い浮かべる』ことができるし、日中に見た光景の夜の姿を『想像する』こともできる。</p> <p>さらに、その光景内に何があったかを言葉にして『表現する』ことができるし、それを誰かに伝えようと『意図』したり、正確に伝えるための言葉を『選択』したり、相手がそれに対してどのように『理解する』かを『推測』したりもする。</p> <p>ここでは、このような様々な心の働</p>
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	<p>認知心理学の基本的な枠組みを理解し、「認知心理学とは何か」を、自身の専門領域に関係づけて説明できる。</p> <p>人の感覚、知覚、注意に関する基本概念を理解し、日常的に体験される感覚・知覚現象について適切に解釈できる。</p> <p>人の記憶、表象、知識の機能や仕組みについて理解し、それらの特徴や性質について適切に説明できる。</p> <p>人の推論、問題解決、判断、意思決定に関する諸現象を把握し、その認知過程や認知傾向について具体例を用いて適切に説明できる。</p> <p>人の認知が限られた情報と処理資源のもとで機能することを理解し、錯視・忘却・判断の誤りなどの心理現象を「認知の特性と</p>

	制約の帰結」として解釈できる。 認知心理学研究法の基本を理解し、講義で紹介する代表的な研究（実験）について内容を概説できる。
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第 1 回	歴史と隣接領域との関係
	英		
2	日	第 2 回	感覚と知覚 (1): 感じること
	英		
3	日	第 3 回	感覚と知覚 (2): 捉えること
	英		
4	日	第 4 回	感覚と知覚 (3): 知覚の誤り
	英		
5	日	第 5 回	感覚と知覚 (4); 注意と選択
	英		
6	日	第 6 回	記憶 (1): 覚えること、思い出すこと
	英		
7	日	第 7 回	記憶 (2): 思い浮かべること
	英		
8	日	第 8 回	記憶 (3): 忘れること
	英		
9	日	第 9 回	概念と知識 (1): 何かが分かるということ
	英		
10	日	第 10 回	概念と知識 (2): 言語の理解
	英		
11	日	第 11 回	問題解決と推論 (1): 考えること
	英		
12	日	第 12 回	問題解決と推論 (2): 思考の偏り
	英		
13	日	第 13 回	判断と意思決定 (1): 可能性を決めること
	英		
14	日	第 14 回	判断と意思決定 (2): 好みを選ぶこと
	英		
15	日	第 15 回	感情: ホットな認知 (オンデマンド)
	英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	
英	

授業時間外学習 (予習・復習等) Required study time, Preparation and review	
日	本講義に対しては、60 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書/参考書 Textbooks/Reference Books	
日	教科書は使用しない。

	各回の参考文献として推奨できるものがあれば、授業の中で紹介する。
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	<p>平常点 (40%)、定期試験 (60%)</p> <p>これらの評価の合計が 60 点 (全体の 60%) 未満の者は、上記到達目標の最低基準に達していないと判断し、不可とする。</p> <p>平常点は、授業で提示する授業内外の課題の合計得点とする。</p> <p>授業内課題 (各 2 点×13 回) では、以下を基準に採点する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 各課題の設問に対応した回答であること 2) 自らの思考や内観に基づく内容であること <p>これらの観点から、十分な内容で適切に回答できている場合は 2 点、最低限の要件は満たすが不十分または不適切と判断される場合は 1 点、</p>
英	

留意事項等 Point to consider	
日	<p>【オフィスアワー】</p> <p>メールアドレス：takashim(at)koto.kpu-m.ac.jp</p> <p>所属：教育センター (河原町キャンパス 臨床医学学舎 7 階)</p> <p>曜日・時間帯：金曜日・9：30～17：00</p> <p>備考：別の時間帯を希望される場合、個別指導または面談を希望される場合には事前にメールでご連絡ください。</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>講義中心の授業となります、なるべく多くの研究事例や実験等を紹介しながら説明したいと思います。</p> <p>また可能であれば、各大学の特色や皆さんの個性を引き出さ</p>
英	